

平成25年1月31日号

一般社団法人 全国二輪車安全普及協会

発行所

編集·発行人 井内正晴

 $\mp 164 - 0012$ 東京都中野区本町 2-28-11 TEL 03-3372-5156

ホームページ

http://www.nifukyo.or.jp

Japan Motorcycle Safety Association News





◆目 次◆-

■年頭の辞:福井	‡威夫・全国二普協会長 \cdots 2
石井	‡隆之・警察庁交通局長 3
■活動報告: 1	グッドライダーミーティングの開催4
2	指導員レベルアップ研修会を実施11
3	免許取得支援活動の活性化11
4	グッドライダー防犯登録率の向上を目指して13

■全国二普協、	理事会を開催・		15
■全国専務理事	会議を開催・・・		15
■平成24年度優	夏団体・優良則	阪売店受賞者 4	名簿 16
■あなたの安全	とバイクを守る	る全国二普協の	の 2大事業 16
■DATA: 交通	事故/G防犯登	録/盗難認知	•被害回復21
■北村前三重県	二普協専務理	事に感謝状…	24

年頭の辞

グッドライダー防犯登録率の 向上が急務

会長 福 井 威 夫



明けましておめでとうございます。佳き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には平素から当協会の諸活動に多大のご理解とご支援、ご協力を賜り心より厚く御礼を申し上 げます。

昨年は、世界経済の減速に伴い国内景気の持ち直しが緩く、二輪車市場も低迷から脱しきれず、安全・防犯活動を推進していくうえで厳しい環境下にありました。

こうした中にあって、栃木県二輪車安全普及協会が平成24年安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞しましたことは、まことに喜ばしいニュースで、今後の二普協活動を推進するうえでも励みになるものでありました。関係者の皆様に心よりお祝いを申し上げますとともに、これまでのご活動に深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年11月末現在の全国の交通事故発生状況をみますと、死者数は3,908人で、前年同期比マイナス223人、5.4%の減少、また、二輪車の死者数は728人、前年同期比マイナス63人、8.0%減少と、いずれも減少傾向が続いております。

これは、平素における皆様方の交通安全活動に対する真摯なお取組みや官民挙げての交通事故防止活動による大きな成果であります。

当協会といたしましては、引き続き、皆様方をはじめ関係機関、団体と連携を図りながらグッドライダーミーティングをはじめ安全普及活動を積極的に推進し、二輪車の安全運転の更なる向上に取り組んでいくこととしております。

また、二輪車の防犯活動につきましては、グッドライダー防犯登録の登録率の向上と二輪車盗難照会システム加入者の拡充に取り組んでまいります。

昨年の国内4メーカの新車販売台数に対する登録率は、46.1%と前年比0.2%の減少でありました。また、保有台数に対する登録率は、登録後7年経過で抹消する台数が多いこともあり、年々低下してきており、21.9%となっておりますところから、登録率の向上が急務となっております。

一方、昨年の二輪車盗難認知件数は59,469件で、前年比8,307件減少し、また、被害回復率は43.3%で、前年比2.2%増加いたしました。いずれも、少しずつ改善されております。

当協会が運用しております、グッドライダー防犯登録制度と盗難照会システムは、二輪車の防犯対策として重要な役割を果たしており、お客様にとっても有用な制度でありますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りながら強力に推進してまいります。

新しき年が二輪車ユーザーの皆様にとって、より安全、安心を体感できる年となりますよう安全・防犯活動を一層推進していく所存ですので、皆様のご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。 おわりに皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして新年のご挨拶といたします。

年頭の辞

官民一体となった 取組みが不可欠

警察庁交通局長 石 井 隆 之



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、平素から交通行政の各般にわたり、深い御理解と御支援をいただき、また、二輪車の交 通安全活動の推進に特段の御尽力をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成24年中の交通事故情勢につきましては、死者数が4年連続して5,000人以下となり、12年連続の減少となったほか、発生件数及び負傷者数も過去最悪であった平成16年から引き続き減少しております。

これも皆様方を始めとする、関係各位の御尽力のたまものであると改めて感謝する次第であります。 しかしながら、個々の交通事故事件に目を向けてみますと、交通事故死者数の約半数を65歳以上の高 齢者が占めているほか、いまだ飲酒運転等の悪質違反に起因する交通事故によって多くの尊い命が犠牲 となるなど、決して予断を許せない情勢にあります。

こうした情勢を踏まえ、警察といたしましては、政府の第9次交通安全基本計画に掲げられた「平成27年までに交通事故死者数を3,000人以下とし、世界一安全な道路交通を実現する」との目標を達成するため、交通事故死者数の約半数を占める高齢者への対策を始め、一層の交通死亡事故抑止対策を推進し、更なる交通事故犠牲者の減少を目指してまいります。

また、昨年、集団登校中の児童等が多数死傷するなど、社会的反響の大きい交通事故が相次いで発生していることを受け、警察庁を始め関係する省庁等においてこの種の事案に係る対策を推進するとともに、無免許運転の罰則の見直しや一定の病状を呈する病気等に係る運転免許制度の在り方についても検討を行っているところであります。

もとより、交通死亡事故抑止は、ひとり警察のみで達成できるものではなく、関係機関・団体との緊密な連携による官民一体となった取組みが不可欠であることは申すまでもありません。

貴協会におかれましては、「グッドライダーミーティング」、「二輪車安全運転講習」及び「原付安全運転講習」など、二輪車の安全運転普及活動に積極的に取り組んでいただいておりますが、今後とも、こうした活動を推進していただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



0000活動報告0000

1 グッドライダーミーティングの開催

本格導入後7年を経て、全47県で開催を達成!!

未実施であった鳥取県、福岡県、佐賀県、鹿児島県も初開催

二普協活動の大きな柱である安全運転普及活動の重点施策としてグッドライダーミーティング(以下「Gミーティング」という。)を、本年度は全国各都府県二普協において106回計画し、積極的に実施展開を図ってまいりました。

昨年4月から12月末までに46都道府県で100回開催され、3,653名が受講しました。前年同期比で開催数が6回、受講者で340名の増加と順調に推進中です。

特に、本年度は、懸案でありました未実施4県が開催にこぎつけ、平成18年からの本格導入後7年を経て 精年の思いが実り全県で開催の運びとなりました。

また、加えて、受講者から終了後、全国統一アンケートによる調査を導入し、2,805名の受講者からGミーティング全般について評価を頂きました。

平成18年以降の実施累計では、全国で延べ542回開催し、受講者数は21,237名に及んでおり、高い支持を

Gミーティング実績推移表

	開催県数	延べ 開催回数	延べ 受講者数
平成18年度	15県	37回	1,330名
平成19年度	26県	56回	2,215名
平成20年度	29県	73回	3,071名
平成21年度	37県	86回	3,696名
平成22年度	39県	96回	3,959名
平成23年度	41県	94回	3,313名
平成24年度 (12月末現在)	46県	100回	3,653名
累計		542回	21,237名

頂くまでに定着してまいりました。

<Gミーティングの狙い>

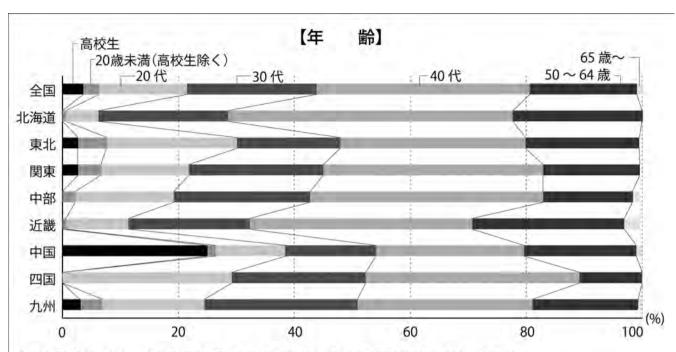
Gミーティングは、グッドライダー宣言者のため の誰でも気軽に参加できる体験型の実技訓練です。上

平成24年度Gミーティング県別開催計画&実績 平成24年12月末現在

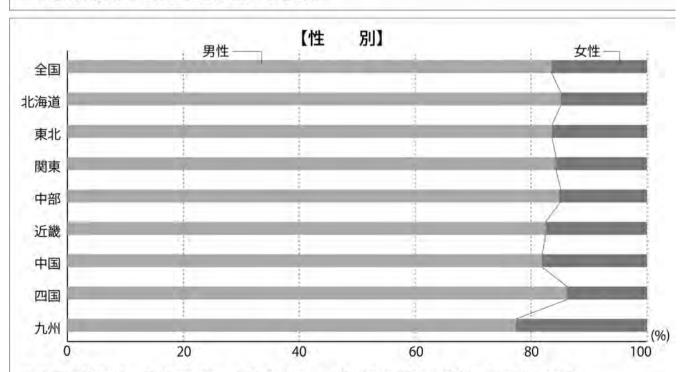
二音協	開催計画	動員目標	開催実績	中止	動員人数	内 女性	指導	警察白ハイ	=	普協	開催計画	動員目標	開催実績	中止	動員人数	内 女性	指導員数	警察白バイ
北海道	6	300	6		327	58	61	7	滋	賀	1	40	1		29	11	4	
青森	1	35	1		27	3	10	2	京	都	2	160	2		56	10	8	
岩 手	3	90	3		112	18	25		大	阪	8	720	7		510	106	81	11
宮城	4	160	4		118	23	41	8		庫	2	180	2		84	9	14	7
秋田	1	25	1		17	2	- 1	5	奈	良	2	140	2		60	12		
山形	1	25	1		28	7	9	4	和	歌山	2	140	- 1		15	3	- 5	
福島	_1	35	1	1	8	2	8	1.00	*用	取	1	30	1	-	42	4	13	3
東京	5	250	4	1	158	13	- 55	2	島	根	1	30	1		62	16	5	-
茨 城	2	90	2		54	6	23	7	岡	Ш	1	30	1		44	6	9	
栃木	2	100	2		84	14	28	4	広	島	3	90	3		88	14	24	8
群馬	2	120	2		111	14	25		山	П	1	30	1	- 4	26	8	8	3
埼玉	4	240	4		206	31	56	16	徳	島	- 1	30	- 1	-	19	1	7	4
千葉	6	330	5		250	54	83	22	香	70	- 1	30	-1		29	3	7	2
神奈川	5	180	5		193	27	87	7	愛	媛	1	50	1		48	8	10	7
新潟	2	120	2	1	126	19	18	4	高	知	1	30	1	1		-		-
山梨	4	150	4		106	16	29	8	**	副	1	30	1		20	6	5	2
長野	2	75	2		69	8	18	4	*6	上 賀	1	20	1		21	2	4	2
静岡	2	100	2		75	4	18	7	長	崎	1	30	1	- 11	13	- 1	14	
富山	2	100	2		66	8	14		熊	本	4	120	3	1	22	7	- 11	6
石川	- 1	30		-	27	7	7		大	分	7	170	7	-	111	18	47	_ = 1
福井	1	30	1		27	6	12		宫	崎	1	20	1	_	11	3	- 5	
岐阜	1 1	50	1=0	1 = 1	40	7	9	-	*麼	児島	1	30	1	-1	9	3	4	2
愛知	2	60	2	1	67	15	14		沖	縄	1	30	1		16	- 5	10	1
三重	1	50	1		22	2	7	5	合	計	106	4,925	100	3	3,653	620	963	182
							+ 2m)	開催県	計	画比	2000		94%	-	74%		1000	
							T 1991	MI IE ME	前	年出			106%		110%			

達する楽しさを通じ個 人の規範意識に訴えか け、安全行動を自ら導 き出せる安全運転講習 を目指しています。こ の体験型講習会では運 転技術の向上ととも に、自己の技量を自覚・ 把握させ、混合交通の 中においても危険要素 への感受性を高めるこ とで、交通ルールとマ ナーを重んじるグッド ライダーを育成し、二 輪車事故の防止を図ろ うとするものです。

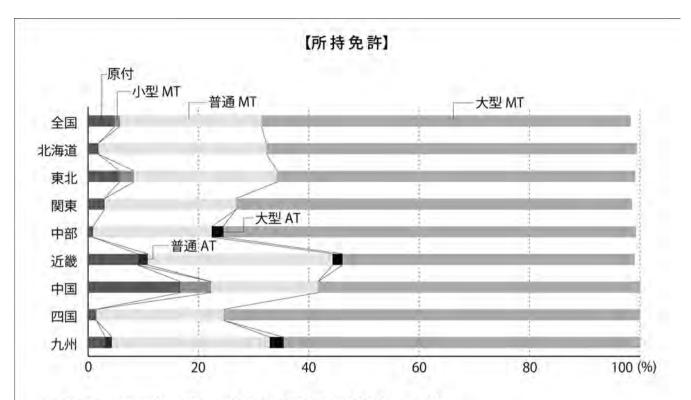
全国統一アンケート受講者評価(ブロック別)(調査数:2,805)



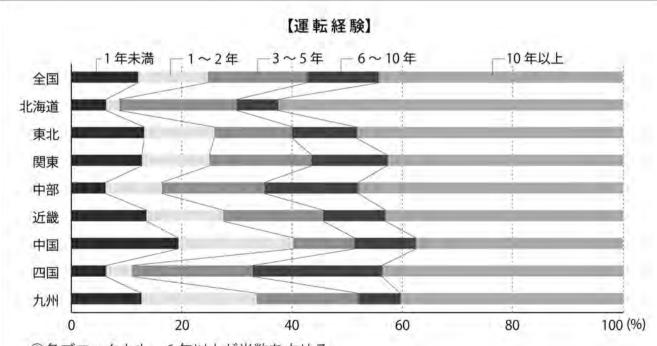
- ◎全国平均では、二輪需要の旺盛な時期に育った年齢層(40代前後)が多い。
- ◎事故の多い 20 歳未満、65 歳以上の参加者は少ないが、40 代の事故は近年増加傾向にあり、ある意味マッチングしているといえる。
- ◎中国(島根)は、高校生対象の講習会を実施。



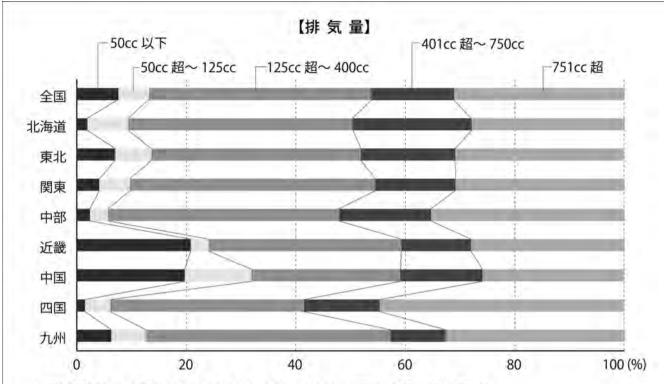
- ◎全国平均では、男性83.5%、女性16.5%、女性が減少傾向。(前年は8割:2割)
- ◎女性が参加しやすい開催の工夫必要⇒レディス開催、女性指導員育成、 女性白バイ隊員協力要請等(**千葉県はレディス講習を定例開催**(**年1回**))が必要



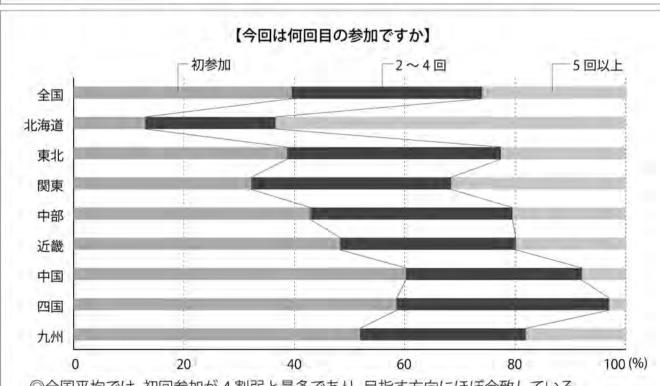
◎各ブロックとも一様に、大型免許所持者が過半数を占める。⇒安全意識、趣味性の高さが関連していると思われる。



- ◎各ブロックとも、6年以上が半数を占める。
 - ⇒趣味性や安全意識の高い経験層の参加意欲が高い。
- ◎2 年未満(事故割合の高い初心運転者)が全国平均で 2 割強と構成比は低い。 ⇒伸ばしたい初心運転者層
- ◎中国、九州は初心者対象開催があり、ビギナーウエイトは高い。

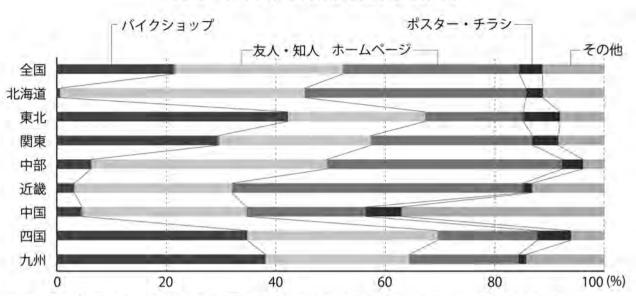


- ◎所持免許の大型保有率の高さに対し、参加車両は普通二輪が最多。
 - ⇒大型免許は所持しているが、車両は普通二輪を保有
- ◎近畿(大阪)は職域対象、中国(島根)は高校対象があり、原付ウェイト高い。



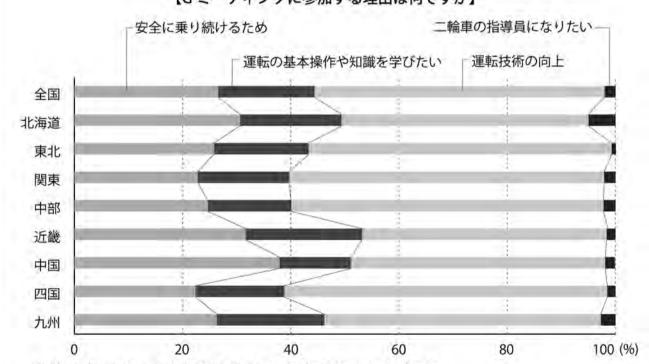
- ◎全国平均では、初回参加が4割弱と最多であり、目指す方向にほぼ合致している。
- ◎次いで2~4回が多く、4回以下で7割を超えていることから対象層への誘引を維持。
- ◎西日本エリアでは初回参加の誘引率高い。
- ◎北海道(札幌)は、初回が少なく、リピーターが過半数を占める。



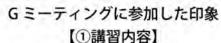


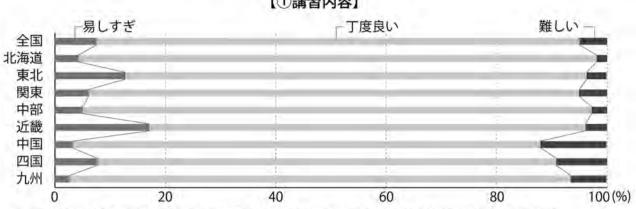
- ◎全国平均では、HP誘引が最多であり、次いで友人・知人、ショップは3番目と低い。 ⇒店頭個別安全指導を行う観点から販売店誘引を積極的に行う必要性
 - (G防犯は安全と防犯がセット)
- ◎東北は、販売店窓口を主体的に推進しユーザーとの結び付を強化。(青森は100%)
- ◎九州(大分)、四国(愛媛、徳島)、関東も販売店からの誘因を強化。
- ◎北海道、中部、近畿、中国は販売店の接点が弱く、連携強化が望まれる。

【Gミーティングに参加する理由は何ですか】



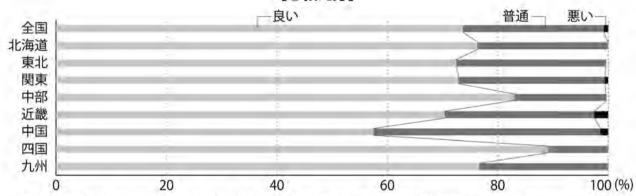
- ◎どのブロックでも参加動機として、運転技術の向上が最多。
- ◎参加者の傾向として、更に上手くなりたいというレベルアップ志向が高い。
- ◎指導員資格の取得意思ありが、約2%と健闘⇒指導員育成の場として活用を促進!!





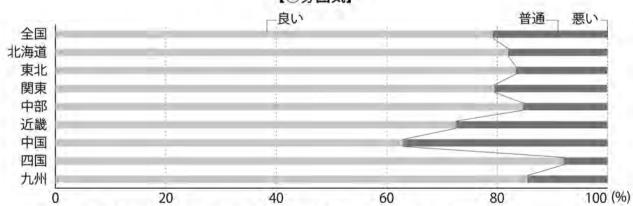
- ◎丁度良いが大多数であり、受講者の力量にマッチした講習内容であると言える。
- ◎各県 GM 検討会で、カリキュラム基準や指導員レベルアップ等の参考としたい。
- ◎前年の丁度良いは、84.5%で3ポイントアップ。

【②教え方】

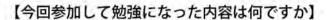


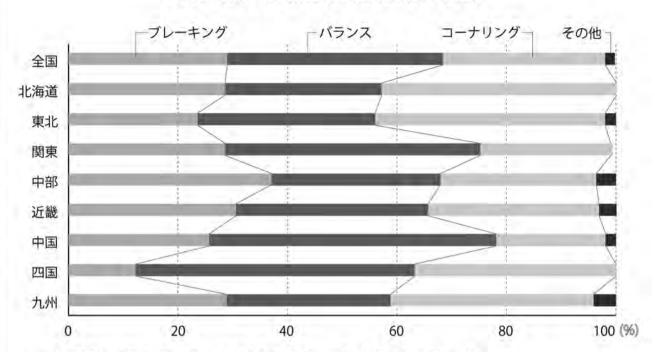
- ◎大多数は良い回答であるが、普通回答は不満として捉え反省材料とすべき。
- ◎指導員のレベルによりバラツキがあるのは否めない。
- ◎各県 GM 検討会で、カリキュラム基準や指導員レベルアップ等の参考としたい。
- ◎前年の良いは、69.4%で4.3ポイントアップ。

【③雰囲気】



- ◎これも、普通回答はイコール不満として捉え反省材料とすべき。
- ◎指導員・事務局等の立振る舞いに問題はないのか振り返りの必要性有。
- ◎各県 GM 検討会で、カリキュラム基準や指導員レベルアップ等の参考としたい。
- ◎前年の良いは、74.5%で4.7ポイントアップ。





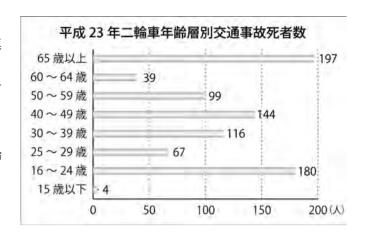
- ◎全国ではバランス、コーナリング、ブレーキの順となっている。
- ◎ブロック別では、講習内容が一様でないため、バラツキが散見される。
- ◎各県 GM 検討会で、カリキュラム基準や指導員レベルアップ等の参考としたい。



- ◎但し、受益者負担の原則が必ずしも履行されていないので、真の満足・達成度と異なる。
- ◎各県 GM 検討会で、カリキュラム基準や指導員レベルアップ等の参考としたい。

〈次年度に向けての課題〉

- ◎二輪車乗車中の交通事故死者の割合が高い、初心運転者、年齢層(若者・高齢者)の参加促進。
- ◎Gミーティング指導員マニュアルに基づいた運営方 法及び指導方法の標準化。
- ◎指導員のレベルアップのための研修会の実施。
- ◎地域特性を活かした多様(高校生・レディス・高齢者等)なGミーティングの開催。
- ◎受益者負担の原則に基づいた講習会料金の是正。──等を図ってまいります。



2 指導員レベルアップ研修会を実施

埼玉県二普協

埼玉県二普協(曾根会長、福島専務理事)と埼玉県 二輪車安全運転推進委員会(稲村委員長)では、昨年 10月20日、埼玉県警察運転免許センターにおいて、指 導員の資質と指導方法の向上を図るため「埼玉県二輪 車安全運転指導員研修会」を実施しました。

埼玉県ではGミーティングは埼玉県警と共催のため、当日は、警察本部交通機動隊員8名(内女性白バイ隊員(通称:スキップ)5名)、指導員11名、県安協(二推)2名の合計21名の指導員が参加しました。

指導に当たっては、全国二普協安全部会の飯田委員、瀬川委員が担当し、「Gミーティング指導員マニュアル」に基づいて、座学では、マニュアル制作の背景や狙いそして指導員の受講者に対する訓練のポイント



を、実技では、指導要領における各セクションの設定 目的及び指導方法について共有化を図りました。

本年度は、関東1都9県合同指導員リーダー研修会 (6月)、徳島県指導員レベルアップ研修会 (7月) に次いで3回目の開催となりました。今後も指導員のレベルアップのための研修の推進が望まれます。

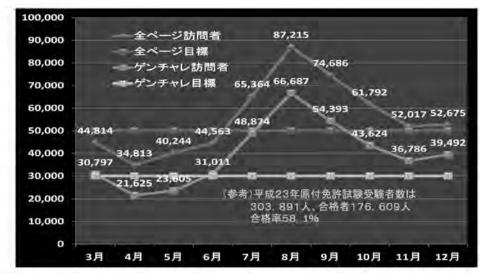
3 免許取得支援活動の活性化

「ゲンチャレ」サイトの反響は 拡大の一途!! 大盛況!!

運転免許を取得しようとする時点での交通安全教育は、大きな効果が期待できることから、必要な情報を提供して免許取得を支援し、ルールとマナーを重んじるグッドライダーの育成を推進するため、適齢者をメインとしたモバイルコンテンツ「ゲンチャレ」(ホームページ、スマートフォン、携帯電話)を平成24年3月1日に開設(図1)しましたが、その後の動向を追っ

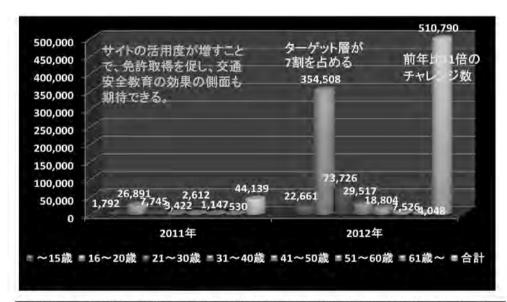


(図1) ゲンチャレサイトのトップページ



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	果計
全ページ訪問者	44,814	34,813	40,244	44.563	65,364	87,215	74,686	61,792	52,017	52,675	558,183
全ページ目標	50,000	50,000	50,000	50.000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	500,000
達成率	89.6%	69.6%	80.5%	89.1%	130.7%	174.4%	149.4%	123.6%	104.0%	105.4%	111.6%
ゲンチャレ訪問者	30,797	21,625	23,605	31,011	48,874	66,687	54,393	43,624	36,786	39,492	396,894
ゲンチャレ目標	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	300,000
選成率	102.7%	72.15	78.7%	103.4%	162.9%	222.3%	181.3%	145.4%	122.6%	131.6%	132.3%
全/ゲ構成比	68.7%	62.1%	58.7%	69.6%	74.8%	76.5%	72.8%	70.6%	70.7%	75.0%	71.1%

(図2) 全ページ・ゲンチャレ訪問者数 2012.03.01~12.31



世代別	~15歳	16~20歳	21~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳~	合計	男	女
2011年	1,792	26,891	7.745	3,422	2,612	1.147	530	44,139	32,170	11,969
2012年	22,661	354,508	73,726	29,517	18,804	7,526	4,048	510,790	359,580	151,210
伸長率	1265%	1318%	952%	863%	720%	656%	764%	1157%	1118%	1263%
構成比	4.4%	69.4%	14.4%	5.8%	3.7%	1.5%	0.8%	100%	70.4%	29.6%

(図3) ゲンチャレ チャレンジ数 2012.03.01~12.31

てみました。

●平成24年3月1日サイト開設後の訪問者は、7月 以降急増し12月末時点での全ページ訪問者は、累計 558,183人(図2)、その内ゲンチャレ訪問者は、累 計396,894人で全体の7割を占めており、予測を超 える活況を呈しています(図3)。因みに、平成23 年の原付免許試験受験者数は、303,891人、合格者 176,609人、合格率58,1%となっており、訪問者が増すことで、交通ルールの一層の理解促進が図られると思われます。

●ゲンチャレチャレンジ数は、累計510,790人で、前年比11倍のチャレンジがあり、その内適齢者層は7割を占めています。サイトの活用度が増すことにより、免許取得の動機付けが進み、交通安全教育とし

ての効果も期待できると思われます。

- ●関連情報として、安全運転に役立つ書籍のバナーを新設して、「バイクと法令」「原付試験問題集」を紹介し、更に書籍のお取扱店舗一覧を併設して訪問者への利便性の向上を図りました。平成25年1月末には、お取扱店数は450店に達する見通しであり、更なる増加を期待しております(図4)。
- ●新たな波及効果として、販売店ブログ、個人ブログにたくさんの反響が出ており、また、twitterの「つぶやき」やFacebookでの「いいね!」ともに反響があり、増殖中です。



- ●また、本サイトとは別に、原付チャレンジゲーム 「イージートライ」(二輪車の事故の特徴としての「出 合頭」「交差点」「カーブ」等を出題した計4問の簡 易版)を制作し、イベント会場等において、交通安 全の一助として啓発活動を行いました(写真)。
- ●今後に向け、更に認知度、活用度の向上が期待されるところであり、二輪車を利用する人たちの安全を確保し、安全で快適な二輪車の利用が促進されるよう施策の継続強化を図ってまいります。





(写真) イージートライによる

4 グッドライダー防犯登録率の向上を目指して

G防犯登録制度は、二輪車を購入していただくお客様に対し、「人の安全」と「車(財産)の安全」をセットにして販売、普及していこうという趣旨から、「あなたの安全とバイクを守る」とのキャッチフレーズで、

平成8年4月からまず東京都、新潟県及び鹿児島県で 実施が始まりました。

その後、徐々に実施する県が増え、平成14年4月からは全都道府県で実施されることとなり、現在に至っ

登録件数・登録率

登録		年間登録件数等			
	年間登録件数	(内新車登録~目	国内4メーカー)	登録件数累計	保有台数比(%)
年	十 用 豆 球 干 級	(登録件数)	(新車台数比%)		
平成 15	353,033			1,922,155	14.9
16	370,322			2,292,477	18.0
17	361,193			2,653,670	20.8
18	349,991			3,00,3661	23.9
19	367,855			3,371,516	27.1
20	355,301	240,340	46.0	2,872,117	23.4
21	295,810	183,260	48.1	2,806,116	23.1
22	297,751	181,796	47.8	2,751,256	23.0
23	300,638	187,823	46.3	2,698,861	22.6
24	290,771	185,393	46.1	2,619,310	21.9

ております。

この間、皆様方には、G防犯登録制度の普及促進に向けまして、何かとご尽力を頂きまして誠にありがとうございます。

全国において実施されるようになって以降の年間登録件数、登録率の推移は前頁の表のとおりです。

保有台数比率は、順調に増加してきましたが、平成 19年の27.1%をピークに減少に転じ、それ以降は僅か ずつではありますが減少傾向が続いております。

これは、新規に登録される件数より登録後7年経過して登録が抹消される件数が年間で約5万台以上多いため、年々、保有台数比率の登録率は低くなってきております。このまま推移しますと、20%を割り込むことも目前に迫っている厳しい状況にあります。

一方、二輪車の盗難被害状況をみますと、年間67,716件(平成23年中)発生しており、約8分間に1台が盗難に遭っているという状況であり、二輪車ユーザーにとって依然として二輪車利用上の大きなリスクとなっております。

二輪車ユーザーの利用環境のこうしたリスクを取り除く上で、G防犯登録制度は極めて有効です。

国内二輪車市場の低迷による年間販売台数そのもの の落ち込みによる登録件数の減少もあるとは思われま すが、更なる努力を傾けて登録件数の増加を図ってい かなければならないと考えております。 全国二普協といたしましては、今後、お客様、販売店様のご意見をお聞きしながら、G防登録制度のより効果的な推進方策に積極的に取り組んでまいります。皆様方におかれましては、G防犯登録制度に加入された方のメリットであります

- ① 盗難や放置された場合に早期発見ができる。
 - ・ 警察庁のコンピュータに登録され、全国で防 犯データとして活用されることにより、盗難や 放置された場合に警察官による早期発見が容易 になる。
 - ・ 市役所に問い合わせをしなくても、また、夜間、休日であっても所有者確認が即時にできる。
 - ・ 所有者が確認できることにより、所有者本人 に対し迅速に連絡が行われる。
- ② 発行されたユーザーカードにより真の所有者であることが証明できる。
- ③ G防ステッカーの車体への貼付により、盗難の 抑止効果がある。

について、二輪車購入者に幅広くご教示いただき、G 防への加入促進を図っていただきますようお願い申し 上げます。

二輪車を取り巻く環境は厳しく皆様方のご苦労も多く大変だと思いますが、何卒、よろしくお願い申し上げます。

〈G防登録推進用下敷きの配付〉

登録申込み用紙の記載時に使用する下敷きとして、 G防犯登録制度の仕組みやその利点とともに申込み用 紙の記載例を分かりやすく書き表したものを販売店に



配付しました。

これからも、実際に登録をしていただく販売店や ユーザーからの意見、要望に配意したG防登録制度の 推進方策を継続して行っていきます。



理事会を開催

全国二普協

全国二輪車安全普及協会(全国二普協)は平成24年 11月26日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で「理 事会」を開催しました。 会議では、上半期の主要事業推進状況及び予算執行 状況等について、事務局から報告があり、全会一致で 承認されました。

全国専務理事会議を開催

G防犯登録率の向上が重要課題

全国二輪車安全普及協会は平成24年11月26日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で、都府県地区二普協の専務理事など50人が出席し「全国専務理事会議」を開催しました。

会議の冒頭、福井会長から、平成24年安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞した栃木県二輪車安全普及協会をはじめ、都府県地区二普協の日頃の活動に対し敬意と感謝の意が表されるとともに、引き続き安全普及活動及びG防犯登録制度の積極的推進等を図っていく旨の挨拶がありました。

次いで、事務局から上半期の事業推進状況として、 安全普及活動推進状況、G防犯登録及び盗難照会シス テム運用状況、予算執行状況等についてそれぞれ説明 がありました。

引き続き、優良地域団体38団体及びG防犯登録制度 推進優良販売店135店の表彰式を執り行い、受賞者代 表4方に会長から表彰状を授与しました。

当日ご出席された受賞者代表は次の方々です。

○優良地域団体

- ·小平二輪車安全普及協会 会 長 鈴木 曻様
- · 向島二輪車安全普及協会 副会長 大島 敏男様
- ・ホンダドリーム大田店

○G防犯登録制度推進優良販売店

(ホンダドリーム東京代表取締役社長 川端 唯久様)

・丸富オート販売株式会社 国産車センター店

(取締役 和田 正昭様)

ご来賓の警察庁の廣田浩一運転免許課長からは会議 の席上において、また、河合潔生活安全企画課長から は意見交換会においてご挨拶を頂きました。

両課長のご挨拶をいただき、出席者一同、今後の安全普及活動及びG防犯登録制度の推進に、より一層の取り組みの強化をしていかなければならないとの思いを強くいたしました。

なお、会議・意見交換会の出席者は次の皆様です。

くご来賓>

▽警察庁交通局運転免許課長 廣田耕一 様

▽同課長補佐 松岡隆 様



▽警察庁生活安全局生活安全企画課長 河合潔 材

- ▽同課長補佐 上條浩一 様
- ▽同課係長 伊興田光洋 様

<都府県地区二輪車安全普及協会>

▽中山保事務局長(札幌)▽新山陽悦専務理事(青森) ▽遠藤貞夫専務理事(岩手)▽藤田栄専務理事(秋田) ▽江目一正常務理事(山形)▽羽田豊秋常務理事(福島)▽西方勇専務理事(東京)▽福島小善治専務理事 (茨城・栃木・埼玉)▽平野明専務理事(群馬・新潟・長野)▽冨樫正道専務理事(千葉・神奈川)▽生田昌弘専務理事(静岡・岐阜・愛知)▽横山清司(富山)▽稲垣雅文専務理事(石川・福井)▽佐々木和久専務理事(三重)▽川島明(滋賀・京都・兵庫)▽高野邦彦(大阪・奈良・和歌山)▽池崎勝広専務理事(鳥取・島根・岡山・広島)▽出口誠一専務理事(愛媛・高知)▽橋口一久専務理事(長崎)▽塚野一良専務理事(熊本)▽岡田敏彰専務理事(大分)▽岡村孝慶専務理事(鹿児島)▽登野原功専務理事(沖縄)

<全国二普協>

▽福井威夫会長▽井内正晴専務理事▽太田昭雄常務理 事▽鯉渕三夫事務局長▽山本礼仁経理部長▽大沢利方 安全普及部長▽田島和雄G防システム部長

<運営委員等>

▽千葉英雄委員長▽中西盟委員▽飯田剛委員▽曽根賢 二委員▽栗田敏一委員▽小林健委員▽長谷川靖委員▽ 筒井賢吾委員▽小池田達郎委員▽瀬川比呂昌委員▽成 田睦郎氏▽奥村浩二氏▽池本憲治氏▽原淳一郎氏▽川 口昌彦氏

優良販売店135店、優良地域団体38団体に栄誉

G防犯登録制度推進「平成24年度全国二普協会長表彰」

グッドライダー防犯登録制度推進優良販売店

計135店

Number	都府県	.地区名	店名	什	表	者名	
M	札	樨				直	
古 森							
青 森	旭	Ш			島		
YSP八戸							
特別 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	青	森		-			
特別				三言	浦_		
北上ホンダ			(有)小原サイクル	小	原	敏	彦
マーターサイクル フルハウス 小 松 一 博 南小泉ホンダ 後 藤 公 弥 オートランド オイカワ 及 川 弘 明 佐藤モーターサイクル 佐 藤 俊 二 か アダサイクル 鎌 田 誠 一 カワサキショップ グッドラック 芳 賀 常 幸 稲ホンダウイングスピリッツ 小野寺 修 株	岩	手		-			
南小泉ホンダ 後 藤 公 弥 オートランド オイカワ 及 川 弘 明 佐藤モーターサイクル 佐藤モーターサイクル 佐藤モーターサイクル 鎌 田 誠 一 カワサキショップ グッドラック 芳 賀 常 幸 衛ホンダウイングスピリッツ 小野寺 修 様 様 様 様 様 様 様 様 様				加力	藤	正	
オートランド オイカワ 及 川 弘 明 佐藤モーターサイクル 佐藤 俊 二 カマダサイクル 鎌 田 誠 一 カワサキショップ グッドラック 芳 賀 常 幸 (南ホンダウイングスピリッツ 小野寺 修 (南ホンダウイングスピリッツ 小野寺 修 米ホンダドリーム郡山 加 藤 幸 寿 位 藤 隆 一 ホンダドリームでおき 回 部 博 典 日 日 日 日 日 日 日 日 日			モーターサイクル フルハウス	小力	松		博
株 田 佐藤モーターサイクル 佐藤 俊二 カマダサイクル 鎌田 誠一 カワサキショップ グッドラック 芳 賀 常 幸 橋市 イ	宮	城		後	藤	公	弥
秋 田 カマダサイクル 鎌 田 誠 一 カワサキショップ グッドラック 芳 賀 常 幸 (桁ホンダウイングスピリッツ 小野寺 修 (桁ホンダウイング荘内 荒 生 和 人 旅篭町ホンダ 渡 辺 良 一 ホンダドリーム郡山 加 藤 幸 寿 (桁ホンダウイングいわき 阿 部 博 典 レクセン商会 鈴 木 康 祐 ホンダドリーム大田 川 端 唯 久 ボンダドリーム大田 川 端 唯 久 (株成城ホンダ 吉 岡 正 一 (株)成城ホンダ 吉 岡 正 一 (株)木村 茂 大 大次ダドリームつくば南 小 森 敬 光 ホンダドリームっくば南 小 森 敬 光 ボンダドリーム書館宮 岡 康 夫 (株)川口輪業 川 口 靖 雄 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 ホンダドリーム福生 河原井 ホンダドリーム福生 河原井 ホンダドリーム海集 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 千 葉 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			オートランド オイカワ	及	Ш	弘	
カワサキショップ グッドラック 芳 賀 常 幸 (南ホンダウイングスピリッツ 小野寺 修 (根)ホンダウイング荘内 荒 生 和 人 旅篭町ホンダ 渡 辺 良 一 ホンダドリーム郡山 加 藤 幸 寿 福 島 (イーングリングリーム郡山 加 藤 幸 寿 レクセン商会 鈴 木 康 祐 ホンダドリーム大田 川 端 峰 久 東京 バイカーズステーションSOX練馬店 佐 藤 隆 一 (株)成城ホンダ 吉 岡 正 一 (株)成城ホンダ 吉 岡 正 一 (株)イカーズステーションSOX練馬店 井 原 啓 之 ホンダドリームつくば南 小 森 敏 光 ホンダドリーム字都宮 岡 康 ラ (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 群 馬 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 ボンダドリーム高崎 五 十 嵐 産 ホンダドリーム桐生 河原井 弘 (株)弁慶 林 青 雲 本 グドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			佐藤モーターサイクル	佐	藤	俊	<u></u>
(相ホンダウイングスピリッツ	秋	田	カマダサイクル	鎌山	田	誠	_
山 形 (株)ホンダウイング荘内			カワサキショップ グッドラック	芳 ?	賀	常	幸
旅篭町ホンダ 渡 辺 良 一 ホンダドリーム郡山 加 藤 幸 寿 (南ホンダウイングいわき) 阿 部 博 典 レクセン商会 鈴 木 康 祐 ホンダドリーム大田 川 端 唯 久 東 京 バイカーズステーションSOX練馬店 佐 藤 隆 一 (株)成城ホンダ 吉 岡 正 一 (株)かエストウッド 井原商会 井 原 啓 之 ホンダドリームつくば南 小 森 敏 光 ホンダドリーム字都宮 岡 康 夫 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 ボンダドリーム高崎 五十嵐 孝 光 ホンダドリーム桐生 河原井 弘 株)弁慶 林 青 雲 本 ンダドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 イ 東 生 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			(有)ホンダウイングスピリッツ	小野	寺		修
カンダドリーム郡山 加藤幸寿 カンダドリーム郡山 加藤幸寿 カンダドリーム大田 川端唯久 カンダドリーム大田 川端唯久 東京 バイカーズステーションSOX練馬店 佐藤隆一 (株)成城ホンダ 吉岡正一 (相)木村輪業 木村 茂 茂 株 大 大 茂 茂 株 大 大 茂	山	形	(株)ホンダウイング荘内	荒	生	和	人
福 島 (利ホンダウイングいわき 阿 部 博 典 レクセン商会 鈴 木 康 祐 ホンダドリーム大田 川 端 唯 久 バイカーズステーションSOX練馬店 佐 藤 隆 一 (株)成城ホンダ 吉 岡 正 一 (有木村輪業 木 村 茂 株)ウエストウッド 井原商会 井 原 啓 之 ホンダドリームつくば南 小 森 敏 光 ホンダドリーム宇都宮 岡 康 夫 (有)岡モータース 岡 康 夫 (角)川口輪業 川 口 靖 雄 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 ボンダドリーム高崎 五十嵐 孝 光 ホンダドリーム桐生 河原井 弘 株介慶 林 青 雲 ボンダドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			旅篭町ホンダ	渡	辺	良	_
レクセン商会 鈴木康祐 東京 バイカーズステーションSOX練馬店 佐藤隆一 茨城 (村)イカーズステーションSOX練馬店 佐藤隆一 (樹)成城ホンダ 吉岡正一 (樹)女子というというでは南 小森飯光 (株)イカーズストウッド 井原商会 井原啓之 (株)グドリームつくば南 小森飯光 (本)グドリーム宇都宮 岡康夫 (福)川口輪業 川口靖雄雄 群馬 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐藤隆一一 群馬 本ンダドリーム高崎 五十嵐孝光 ボンダドリーム鴻巣 本の大の海洋の大の海洋の大の海洋の大の海洋の大の海洋の大の海洋の大の海洋の大の海			ホンダドリーム郡山	加	藤	幸	寿
東京 ホンダドリーム大田 川端唯久 バイカーズステーションSOX練馬店 佐藤隆一 (株)成城ホンダ 吉岡正一 液 (株)の大工ストウッド 井原商会 井原啓之 ホンダドリームつくば南 小森般光 ホンダドリームつくば南 小森般光 ホンダドリーム字都宮 岡康司 原 司 原 司 原 司 原 表 原 下 原 下 原 下 原 下 原 下 原 下 原 下 原 下 原 下 原 下 原 下 年 原 下 年 原 下 年 年 下 が 下 日 辺治彦 下 下 東 下 が 下 下 日 辺治彦 スズキワールド船橋 演本英信 下 本孝二 下 本孝二	福	島	(有)ホンダウイングいわき	阿哥	部	博	典
東 京 バイカーズステーションSOX練馬店 佐藤隆一 (構成城ホンダ 吉岡正一 (有木村輪業 木村茂 茨城 (株)ウエストウッド 井原商会 井原 啓之ホンダドリームつくば南 小森 敏光 ボンダドリーム宇都宮 岡康司 康司 「衛間モータース 岡康夫 「衛川口輪業 川口靖雄 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐藤隆一ホンダドリーム高崎 五十嵐孝光 ホンダドリーム高崎 五十嵐孝光 ホンダドリーム高崎 五十嵐孝光 ホンダドリーム高峰 五十嵐孝光 コ原井 弘 株)弁慶 林青雲 ホンダドリーム鴻巣 酒井和浩 エフワンオート 田辺治彦スズキワールド船橋 濱本英信 バイクセンター千葉北 吉本孝二			レクセン商会	鈴	木	康	祐
(株)成城ホンダ 吉 岡 正 一 (有)木村輪業 木 村 茂 (株)ウエストウッド 井原商会 井 原 啓 之 ホンダドリームつくば南 小 森 敏 光 ホンダドリーム宇都宮 岡 康 司 (有)川口輪業 川 口 靖 雄 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 ホンダドリーム高崎 五十嵐 孝 光 ホンダドリーム桐生 河原井 弘 (株)弁慶 林 青 雲 本ンダドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			ホンダドリーム大田	JII 3	端	唯	久
(有)木村輪業	東	京	バイカーズステーションSOX練馬店	佐	藤	隆	_
茨 城 (株)ウエストウッド 井原商会 井 原 啓 之 ホンダドリームつくば南 小 森 敏 光 ボンダドリーム宇都宮 岡 康 司 商間モータース 岡 康 夫 (有)川口輪業 川 口 靖 雄 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 ホンダドリーム高崎 五十嵐 孝 光 ホンダドリーム桐生 河原井 弘 ボンダドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			(株)成城ホンダ	吉」	岡	正	_
栃 木 ホンダドリームつくば南 小 森 敏 光 栃 木 (有)岡モータース 岡 康 夫 群 馬 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 群 馬 ホンダドリーム高崎 五十嵐 孝 光 埼 玉 (株)弁慶 林 青 雲 埼 玉 エングドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 イ 東 東京 京 東京 ボスキワールド船橋 資本 英 信 イ 東北 吉 本 孝 二			(有)木村輪業	木	村		茂
栃 木 (有)岡モータース 岡 康 夫 (有)川口輪業 川 口 靖 雄 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 ボンダドリーム高崎 五十嵐 孝 光 ホンダドリーム桐生 河原井 弘 株)弁慶 林 青 雲 ホンダドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二	茨	城	(株)ウエストウッド 井原商会	井り	原	啓	之
栃 木 (有)岡モータース 岡 康 夫 (南)川口輪業 川 口 靖 雄 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐 藤 隆 一 ホンダドリーム高崎 五十嵐 孝 光 ホンダドリーム桐生 河原井 弘 株弁慶 林 青 雲 ホンダドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			ホンダドリームつくば南	小	森	敏	光
群 馬 (有)川口輪業 川口靖雄 機)バイカーズステーションソックス大泉店 佐藤隆一 おンダドリーム高崎 五十嵐孝光 おいずり中ム桐生 河原井 弘 特別所 玉 本 井和浩 エフワンオート 田辺治彦 エフワンオート 田辺治彦 エフワンオート 田辺治彦 エフリンオート 田辺治彦 エスズキワールド船橋 濱本英信 バイクセンター千葉北 吉本孝二			ホンダドリーム宇都宮	岡		康	司
群 馬 (株)バイカーズステーションソックス大泉店 佐藤隆一 特 馬 エンダドリーム高崎 五十嵐孝光 南 玉 株介慶 林青雲 本 文 信 エフワンオート 田辺治彦 エフワンオート 田辺治彦 エフワンオート 田辺治彦 エフリンオート 田辺治彦 エスズキワールド船橋 濱本英信 インクセンター千葉北 吉本孝二	栃	木	(有)岡モータース	岡		康	夫
群 馬 ホンダドリーム高崎 五十嵐 孝 光 ホンダドリーム桐生 河原井 弘 株弁慶 林 青 雲 ホンダドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			(有)川口輪業	Л	П	靖	雄
特別 ボンダドリーム桐生 河原井 弘 機弁慶 林 青雲 本 メーカー 本 英 信 大の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の			(株)バイカーズステーションソックス大泉店	佐	藤	隆	_
特 株 青 雲 坊 玉 ホンダドリーム鴻巣 酒 井 和 浩 エフワンオート 田 辺 治 彦 スズキワールド船橋 濱 本 英 信 イ 葉 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二	群	馬	ホンダドリーム高崎	五十	嵐	孝	光
埼 玉 ホンダドリーム鴻巣 酒井和浩 エフワンオート 田辺治彦 スズキワールド船橋 濱本英信 バイクセンター千葉北 吉本孝二			ホンダドリーム桐生	河原	井		弘
埼 玉 ホンダドリーム鴻巣 酒井和浩 エフワンオート 田辺治彦 スズキワールド船橋 濱本英信 バイクセンター千葉北 吉本孝二			㈱弁慶	林		青	雲
エフワンオート 田辺治彦 スズキワールド船橋 濱本英信 千葉 バイクセンター千葉北 吉本孝二	埼	玉	ホンダドリーム鴻巣	酒	井	和	
千 葉 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			エフワンオート	田 :	辺	治	
千 葉 バイクセンター千葉北 吉 本 孝 二			スズキワールド船橋	濱	本	英	信
	千	葉					
			有限会社 袖ヶ浦ホンダ本店				

		丸富オート販売㈱国産車センター店	長 田 憲 治
神奈	- Д	丸富オート販売㈱金沢店	長 田 憲 治
		YOKOHAMAセラビー	小 川 司
		(株)ブライトン	川内武志
新	潟	桜井輪店 本店	桜 井 春 雄
		(有)キティホーク	馬場佳哉
		YOUSHOP フクダ	福田重信
山	梨	バイクヴィレッジアトム	曾 根 隆 二
		パール商会	角矢芳彦
		ホンダドリーム松本	赤羽博巳
長	野	ホンダドリーム長野	小 林 邦 博
		茅野ホンダ小平	小 平 勝 彦
		YSP浜松	和 田 茂
静	岡	バイクプラス東海	戸田眞道
		ホンダドリーム富士	若林久樹
		YSP富山東	叶 井 廉
富	Щ	(有)ワークスマツオカ	松岡信明
		モトショップエムズ	松野暁人
		MOTOR HOUSE BIKE ON 金沢田上店	片 岡 匡 史
石	Л	二輪館にしむら	西村健一
		松田モータース(株)	松 田 弘
		赤い三輪車	小 林 幸 弘
福	井	㈱バイクガレージ福井	出口幸宏
		酒井輪業武生ホンダ	酒 井 益 井
		竹村輪業	竹 村 千奈美
岐	阜	オートパレスKEN	児 玉 健
		バイクガレージ キートン	福島智治
		(株)イトー KT	伊 藤 達 也
愛	知	東海オートトレーディング(株)	長 坂 和 夫
		ホンダドリーム名古屋西	飯 田 一 夫
		ホンダ販売マルサカ	丸 坂 一 夫
三	重	(有)鈴木商会	鈴 木 明 宏
		ホンダショップさいとう	斉 藤 憲 治
		YSP滋賀	糟 貝 吉 治
滋	賀	木村輪業	木 村 栄一郎
		びわこサイクル	田 中 康 雄
		天神川ファクトリー 五条カドノ店	黒 岩 義 正
京	都	(株)ホンダドリーム近畿 ホンダドリーム京都北山	井 田 博 雄
		オートショップ ゼロスター	廣瀬邦一
		バイクショップロミオ 箕面店	末 金 成 俊
大	阪	(株)サーティーン ホンダドリーム寝屋川	柏岡一三
		(株)ルーニー 深阪店	屋名池 廣 司
		バイクショップロミオ 宝塚店	末 金 成 俊
兵	庫	(株)ビッグジャンプ	田 中 武
		モトフィールドドッカーズ 甲子園店	岡 本 章 弘
		YOUSHOPキャブレター	松井幸三
奈	良	クレイジーモーターワークスムカイ 奈良本店	向 井 大 二
		YMC㈱ 柳谷モーターサイクル	柳谷秀隆

二輪車安全普及協ニュース № 109 平成25年 1 月31日号 Japan Motorcycls Safety Association News

		バイク&バイシクル カワグチ	Ш	П	宗	隆
和	歌 山	(有)サービスショップ阿部	阿	部		達
		バイクショップ南紀	瀧	谷		勉
		(有)中村屋	中	村		亙
鳥	取	モトバイク マツモト	松	本	真	三
		パドック II	野	澤		正
		凇北輪業	青	砥	好	右
島	根	(有)レーシングショップアツタ	熱	田	勝	則
		(有)オートプラザコウノ	河	野	由信	走子
		ホンダドリーム 岡山	白	井		覚
岡	山	(株)エックスランド	小笠	2.原	卓	宏
		(株)オートランド田中	井	上	敏	行
広	白	宮田サイクル	宮	田		勝
14	島	三浦自転車商会	三	浦	利	之
		(有)山口ポインター	小	Ш	克	己
山		バイクショップ 竹村	竹	村		弘
		YSP宇部	藤	村	幸	治
		(有)インディーズ	Щ	П	裕	治
徳	島	㈱藤岡輪業商会	藤	岡	雅	彦
		オートランドYokota	横	田		悟
		バイクスポーツプラザBSP高松	相	Ш	捷	夫
香	Ш	池田サイクル	池	田	全	人
		ホンダスクエア高松	片	岡	光	治
		ホンダサービス日野	日	野	征衛	前門
愛	媛	(株)はなやま	花	Щ	志	郎
		銭形商会	矢	野	平	治
		瀬戸ホンダ 高橋商会	高	橋	永	久
高	知	(有)オートショップ オジマ	小	島	正	志
		オートファクトリー	野	П	和	也
		モトフィールドドッカーズ福岡	岡	本	章	弘
福	岡	ホンダショップライフ	加	藤		稔
		YSP大濠	門	松	秀	明
長	崎	ホンダドリーム長崎	村	上	順	三
12	երյ	(有)昭和ホンダ商会	篠	田	公	敏
		バイクショップR本店	山	野	和	明
熊	本	井原モータース	井	原	幸	男
		Y'z BOX	吉	田	光	義
		侑YSP南大分	河	野	_	成
大	分	オートショップムラヤ	村	谷	常	夫
		(有)勝木モータース	勝	木	義	廣
宮	崎	(有)車輪館	黒	木		茂
当	ны	サイクルオートトラトリ	虎	取	好	明
		(有)福盛モータース	福	盛	光	政
鹿	児 島	㈱アローズモーターサイクル	濱	田	正	壽
		モトショップ クボ	久	保	_	成
		ホンダニ輪久米	比	嘉		豊
沖	縄	モトサウンド	新	里	克	_
		グリット	金	城	博	司

優 良 地 域 団 体

計38団体

都府県地区名	優良地域団体名称	代表表	音 氏名
青 森	八戸地区二輪車安全普及協会	田島	昇
岩 手	岩手県二輪車安全普及協会ブロック会	田中	清 也
宮 城	宮城県二輪車安全普及協会 中央南ブロック会	大 友	克 人
秋 田	大 館 地 区 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	小 塚	弘
山 形	長 井 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	佐 藤	邦 昭
福島	福島県二輪車安全普及協会会津支部	渡 部	芳 夫
	府中二輪車安全普及協会	荒井	俊 一
東 京	小 平 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	鈴 木	曻
	向 島 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	多賀谷	茂
茨 城	茨 城 県 二 輪 車 安 全 普 及 協 会 取 手 支 部	菅 谷	英 美
栃木	宇都宮東地区二輪車安全普及協会	岡	康 夫
埼 玉	浦和地区二輪車安全普及協会	藤倉	幸親
· 斯 · 下	越谷地区二輪車安全普及協会	浅 見	富司雄
神奈川	横须賀二輪車安全普及協会	鈴木	孝 秀
7甲 汞 川	藤沢二輪車安全普及協会	保 田	昇
静 岡	静岡県浜松地区二輪車安全普及協会	鈴木	義 夫
岐 阜	岐阜県二輪車安全普及協会 岐阜中支部	田中	君 子
愛 知	愛知県二輪車安全普及協会 津島支部	伊 藤	憲尚
三 重	三重県二輪車安全普及協会 四日市西支部	藤井	浩 之
	堺 地 域 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	青 木	信 晴
大 阪	箕 面 地 域 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	藤田	博 昭
	枚方・交野地域二輪車安全普及協会	宮 本	誠 也
和 歌 山	和歌山市北地域二輪車安全普及協会	妙中	清
鳥 取	鳥 取 県 中 部 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	森谷	明 夫
島根	浜 田 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	濱 田	和 哉
岡 山	岡山東二輪車安全普及協会	藤原	久 典
広 島	西条地区二輪車安全普及協議会	竹 重	輝彦
広 島	竹原地区二輪車安全普及協議会	稲 葉	政 由
山口	山口県二輪車安全普及協会 徳山ブロック	村 田	憲 彦
徳 島	徳島県二輪車安全普及協会 徳島東支部	山 橋	諄 亮
愛 媛	愛媛県二輪車安全普及協会 新居浜支部	續 木	睦男
高 知	高知県二輪車安全普及協会 宿毛支部	笹 木	保
福岡	筑 後 地 区 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	樋口	義 實
熊本	熊本東地区二輪車安全普及協会	佐藤	誠
大 分	別 府 地 区 二 輪 車 安 全 普 及 協 会	牧	保
	日置地区二輪車安全普及協会	田代	
鹿児島	薩摩川内地区二輪車安全普及協会	古屋	和年
沖 縄	沖縄県二輪車安全普及協会 浦添支部	金 城	博司

あなたの安全とバイクを守るための

~全国二普協の盗難防止と早期発見事業~



二輪車盗難 照会システム

グッドライダー防犯登録

(7年間有効)

登録データ

全国二輪車安全普及協会

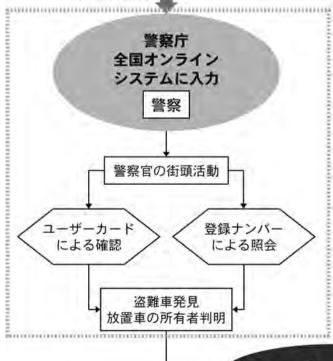
データ集約・管理

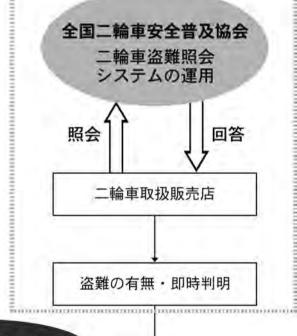
データ送付



警察庁 盗難二輪車データ

データ提供





ユーザーへの返還

<メリット>

▽盗難・放置された場合に早期発見

不審車両・放置車両について、全国ど こでもいつでも照会により所有者判明

▽ユーザーカードにより真の所有者と証明

〈メリット〉

▽盗品売買の防止(社会的信用)

▽無償返還の防止(古物営業法第20条)

▽不正流通の防止(取引の安全)

昨年11月末の交通事故死、前年同期比223人減

一二輪車乗車中は63人減一

(平成24年11月末/警察庁資料)

/		- 1	自二車	乗車中列	尼者数	原付す	乘車中	死者数	二輪車	東車中	死者数	全	死者	数
	\		24年 11月末	増減数	23年 11月末	24年 11月末	増減数	23年 11月末	24年 11月末	増減数	23年 11月末	24年 11月末	増減数	23年 11月末
北	海	道	17	-3	20	5	3	2	22	0	22	178	4	174
	青	森	3	2	1	3	- 1	2	6	3	3	52	7	45
東	岩	手	5	0	5	3	-1	4	. 8	-1	9	75	13	62
	宮	城	2	-2	4	2	-4	6	4	-6	10	58	-4	62
	秋	田	1	-2	3	I	-1	2	2	-3	5	37	-17	54
北	山	形	2	-1	3	2	-1	3	4	-2	6	29	-17	46
	福	島	3	-4	7	8	2	6	11	-2	13	84	-4	88
	言	-	16	-7	23	19	=4	23	35	-11	46	335	-22	357
更	E J	京	37	-7	44	5	-8	13	42	-15	57	153	-41	194
	茨	城	8	0	8	13	2	11	21	2	19	127	-19	146
J. (栃	木	6	0	6	7	-2	9	13	-2	15	84	-13	97
関	群	馬	13	0	13	2	-1	3:	15	-1	16	98	11	87
	埼	玉	23	-5	28	18	-2	20	41	-7	48	178	=11	189
	千	葉	19	-2	21	- 11	3	8	30	1	29	157	-1	158
	神弟		44	4	40	12	-1	11	56	5	51	157	1	156
13	新	緆	8	0	- 8	6	-2	.8	. 14	-2	16	98	-21	119
東	山	梨	7	5	2	- 0	-3	3	7	2	5	38	2	36
	長	野	13	5	8	1	-2	3	14	3	- 11	87	-15	102
	静	岡	25	3	22	12	-1	13	37	2	35	138	-4	142
_	7.367	+	166	10	156	82	-7	.89	248	3	245	1, 162	-70	1, 232
14	畐	Ш	3	1	2	1	-1	2	4	0	4	43	-3	46
中	石	川	2	1	1	1,	-1	2	. 3	0	3	38	-4	42
	福	井	2	2	0	1	-1	2	3	1	2	33	-21	54
Turi I	岐	阜	10	1	.9	9	6	3	19	7	12	111	25	86
部	愛	知	22	-1	23	13	-4	17	35	-5	40	210	10	200
+ #1		重	7	3	4	13	6	7	20	9	11	81	-4	85
	青	_	46	7	39	38	5	33	84	12	72	516	3	513
SE.	滋	賀	5	-1	6	5	-2	7	10	-3	13	70	-7 C	77
近	京	都	16 26	7	9 28	14	-7	14 23	30 42	7 -9	23	97	6 -15	91
	大	阪庫		-2 -5	29	16 16		_	40	-3	51	167	-15	182
248	兵奈	良良	24 10	-5	29	4	2	14	14	10	43	154 42	-20	174 38
畿	和問	_	5	3	2	8	1	7	13	10	9	44	-5	49
		<u>хіц</u> †	86	10	76	63	-4	67	149	6	143	574	-37	611
-1	鳥	取	1	-1	2	1	-2	3	2	-3	5	27	- 37	24
ф.	島	根	4	2	2	0	-1	1	4	1	3	40	12	28
. E	岡	山山	11	2	.9	6	-1	7	17	1	16	100	9	91
国		島	9	-5	14	9	2	7	18	-3	21	111	10	101
(1000)	Ш		2	-6	8	4	0		6	=6	12	50	-15	65
		+	27	-8	35	20	-2	22	47	-10	57	328	19	309
-	徳	島	0	-2	2	3	-4	7	3	-6	9	27	-16	43
四	香	JII	2	-5	7	5	0	5	7	-5	12	64	-6	7.0
	愛	媛	4	-3	7	7	-3	10	11	-6	17	49	-35	84
-	高	知	2	-4	6	6	5	1	. 8	1	7	47	4	43
		1	8	-14	22	21	-2	23	29	-16	45	187	-53	240
	福	岡	9	-5	14	9	-4	. 13	18	-9	27	142	7	135
	佐	賀	2	-1	3	3	-1	4	5	-2	7	43	-2	45
九	長	崎	2	-4	6	5	.0	5	7	-4	11	33	-10	43
	熊	本	4	-10	14	8	2	6	12	-8	20	71	-7	78
	大	分	4	-1	-5	4	1	3	8	0	8	38	-1	39
州	宫	崎	1	-4	- 5	-4	2	. 2	5	-2	7	42	-4	46
-	鹿児		1	-5	6	- 5	3	2	6	-2	- 8	71	-3	74
	沖	縄	8	-4	12	3	-1	4	11	-5	16	35	-6	41
		+	31	-34	65	41	2	39	72	-32	104	475	-26	501
2		1	434	-46	480	294	-17	311	728	-63	791	3, 908	-223	4, 131

グッドライダー防犯登録、出荷台数比77.8%

一保有台数比21.9% 地域間格差の解消が課題 — (-社)全国二輪車安全普及協会

(平成24年12月末)

CONTRACTOR OF THE PERSON NAMED IN	H24.1月 ~ H24.11月 出荷台数	H22年 3月末	H23年12月末	H24年	登録		H16年	削除	累計	
		保有台数	7年満期削除済	12月	H24.1月 ~ H24.12月 E	出荷台数 比(E/A)	12月	H16.1月 ~	H(C+E-G)	H23年保有
北海道	A 2.805	216,302	12,911	D 3	H24.12月 E 924	32.9	7	H16.12月 G 1.531	12,304	台数比(H/6
青森県	1,146	87,152	11,664	18	984	85.9	47	1,726	10,922	12.
	1,587	107,575	10,071	17	956	60.2	47	1,588	9,439	8.
岩手県宮城県	6,049	181,865	55,499	287	6,617	109.4	255	6,738	55,378	30.
	593	60,989	3,236		324	54.6	3	441	3,119	5.
秋田県				5	-					
山形県	923	82,902	7,170		677	73.3	25	858	6,989	8
福島県	2,383	153,119	10,847	52	1,267	53.2	56	1,493	10,621	6.
東北計	12,681	673,602	98,487	383	10,825	85.4	433	12,844	96,468	14.
東京都	41,212	1,037,715	265,473	1,810	26,215	63.6	2,827	42,594	249,094	24
茨城県	5,845	246,855	25,862	196	3,704	63.4	172	2,745	26,821	10
栃木県	3,568	174,988	15,639	99	1,573	44.1	136	2,098	15,114	8.
群馬県	3,056	166,198	17,073	119	1,783	58.3	152	2,452	16,404	9
埼玉県	21,614	586,902	178,360	1,116	15,517	71.8	1,643	23,647	170,230	29
千葉県	15,844	491,556	75,652	554	9,140	57.7	646	9,661	75,131	15.
神奈川県	36,346	961,589	185,772	2,031	23,730	65.3	1.734	24,433	185,069	19
新潟県	2,408	194,269	11,459	30	1,128	46.8	31	1,482	11,105	5
山梨県	2,807	118,022	36,649	174	4,214	150,1	238	4,113	36,750	31
長野県	3,286	209,506	27,224	71	2,369	72,1	168	4,435	25,158	12
関東計	135,986	4,187,600	839,163	6,200	89,373	65.7	7,747	117,660	810,876	19
静岡県	14,054	450,799	49,408	487	6,337	45.1	366	4,897	50,848	- 11
富山県	832	56,491	4,256	- 11	487	58.5	10	513	4,230	7
石川県	1,192	66,608	6,876	20	483	40.5	18	997	6,362	-9
福井県	841	42,749	5,776	14	499	59.3	15	687	5,588	13
岐阜県	2,250	126,448	7,384	53	914	40,6	23	422	7,876	6
愛知県	15,982	517,676	81,215	739	10,786	67.5	322	5,771	86,230	16
三重県	4,606	187,596	36,150	215	3,275	71.1	401	5,447	33,978	18
中部計	39,757	1,448,367	191,065	1,539	22,781	57.3	1,155	18,734	195,112	13.
滋賀県	3,481	135,565	51,617	254	4,740	136.2	638	8,732	47,625	35
京都府	16,418	405,375	120,001	1,042	14,246	86.8	1,190	16,048	118,199	29
大阪府	42,463	1,009,237	403,276	2,910	42,153	99.3	4,271	56.856	388,573	38
兵庫県	21,332	636,293	106,009	1.040	16,635	78.0	308	5,055	117,589	18
奈良県	5,430	200,088	24,623	179	2,398	44.2	279	3,992	23,029	11
和歌山県	6,921	212,211	48.296	260	4,629	66.9	548	9,296	43,629	20
近畿計	96,045	2,598,769	753,822	5,685	84,801	88.3	7,234	99,979	738,644	28
鳥取県	560	33.857	8,437	33	589	105.2	67	1,495	7,531	22
島根県	1,166	54.483	20,576	88	1,764	151.3	208	3,195	19,145	35
岡山県	6,018	204,795	96,951	571	9,167	152.3	859	15,147	90,971	44
広島県	14,407	374,388	267,041	1,864	27,046	187.7	2,431	40,235	253,852	67
山口県	3,560	122,611	48,112	317	3.966	111.4	488	7,104	44,974	36
中国計	25,711	790,134	441,117	2,873	42,532	165.4	4,053	67,176	416,473	52
徳島県					2,370,000	56.1				
香川県	2,336	92,742	11,838	83	1,310		118	1.354	11,794	12
	3,610		8,087	129	2,038	56.5	31	756	9,369	
愛媛県	8,810	235,106	123,374	792	12,371	140.4	1,080	19,649	116,096	49
高知県	3,355	118,881	29,742	201	2,940	87.6	252	3,882	28,800	24
四国計	18,111	573,513	173,041	1,205	18,659	103.0	1,481	25,641	166,059	29
福岡県	13,760	428,362	50,512	361	6,243	45.4	377	5,870	50,885	11
佐賀県	1,008	69,606	1,773	5	137	13.6	9	49	1,861	2
長崎県	4,744	169,339	12,535	42	862	18.2	210	2,568	10,829	6
熊本県	6,769	203,115	39,030	239	4,924	72,7	223	5,405	38,549	19
大分県	3,174	121,240	13,249	110	1,631	51.4	144	1,735	13,145	1.0
宮崎県	2,430	104,113	12,365	63	1,294	53.3	113	1,891	11,768	- 11
鹿児島県	6,173	209,307	41,676	165	2,911	47.2	453	7.874	36,713	17
沖繩県	4,742	166,550	18,115	1.99	2,874	60.6	61	1,365	19,624	44
九州計	42,800	1,471,632	189,255	1,184	20,876	48.8	1,590	26,757	183,374	12
全国計	373,896	11,959,919	2,698,861	19,072	290,771	77.8	23,700	370,322	2.619,310	21

二輪車盗難件数、前年比12.3%減

一被害回復率43.3%、 30県で回復率アップー

(平成24年12月末/警察庁資料)

盗難認知/被害回復状況

(一社)全国二輪車安全普及協会

都道府県	G防普及率	- 2	(年間比較) <警察 平成22年 平成23年						都道府県 平成23年 1月~			期間比較) 平成24年 1月~12月		
	H24年12月	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	卻追肘架	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復
北海道	5.7	362	188	51.9	352	209	59.4	北海道	352	209	59.4	370	158	4:
青森県	12.5	39	1.9	48.7	33	17	51.5	青森県	33	17	51.5	21	10	4
岩手県	8.8	32	19	59.4	39	9	23.1	岩手県	39	9	23.1	39	14	3
宮城県	30.5	832	392	47.1	618	298	48.2	宮城県	618	298	48.2	455	247	5
秋田県	5.1	21	- 11	52.4	15	11	73.3	秋田県	15	11	73.3	13	10	7
山形県	8.4	64	36	56.3	54	24	44.4	山形県	54	24	44.4	46	23	5
福島県	6.9	268	151	56.3	200	130	65.0	福島県	200	130	65.0	162	94	5
東北計	14.3	1,256	628	50.0	959	489	51.0	東北計	959	489	51.0	736	398	5
東京都	24.0	6,709	1,796	26.8	6,429	1,839	28.6	東京都	6,429	1.839	28.6	5.023	1,647	3
茨城県	10.9	1,679	329	19.6	1,690	301	17.8	茨城県	1,690	301	17.8	1,624	196	1
栃木県	8.6	526	114	21.7	372	49	13.2	栃木県	372	49	13.2	413	57	- 1
群馬県	9.9	563	178	31.6	569	218	38.3	群馬県	569	218	38.3	586	197	3
埼玉県		5.858			-	909		埼玉県	-	909			863	
	29.0		764	13.0	4,658		19.5		4,658		19.5	4,096		2
千葉県	15.3	4,423	1,718	38.8	3,105	1,297	41.8	千葉県	3,105	1,297	41.8	3,051	1,068	3
神奈川県	19.2	7,344	3,024	41.2	7,151	3,202	44.8	神奈川県	7,151	3,202	44.8	5,838	2,949	5
新潟県	5.7	178	70	39.3	148	.57	38.5	新潟県	148	57	38.5	124	56	4
山梨県	31.1	757	319	42.1	770	352	45.7	山梨県	770	352	45.7	819	389	4
長野県	12.0	222	96	43.2	176	86	48.9	長野県	176	86	48.9	174	89	5
関東計	19.4	28,259	8,408	29.8	25,068	8,310	33.1	関東計	25,068	8,310	33.1	21,748	7,511	3
静岡県	11.3	1,666	847	50.8	1,394	818	58.7	静岡県	1,394	818	58.7	1,049	635	6
富山県	7.5	69	45	65.2	67	47	70.1	富山県	67	47	70.1	71	38	- 5
石川県	9,6	145	55	37.9	103	68	66,0	石川県	103	68	66.0	95	31	3
福井県	13.1	121	51	42.1	124	77	62.1	福井県	124	77	62.1	89	42	-4
岐阜県	6.2	537	319	59.4	586	333	56.8	岐阜県	586	333	56.8	711	446	- 6
愛知県	16.7	4,655	1,018	21.9	3,878	933	24.1	愛知県	3,878	933	24.1	3,366	930	2
三重県	18.1	760	411	54.1	874	421	48.2	三重県	874	421	48.2	845	481	. 5
中部計	13.5	7.953	2,746	34.5	7,026	2,697	38.4	中部計	7,026	2,697	38.4	6,226	2,603	4
滋賀県	35.1	708	245	34.6	622	177	28.5	滋賀県	622	177	28.5	573	213	3
京都府	29.2	3,083	1,229	39.9	2,975	1,302	43.8	京都府	2,975	1,302	43.8	2,219	1,137	- 5
大阪府	38.5	9,422	3,571	37.9	8,707	3,266	37.5	大阪府	8,707	3,266	37.5	7,648	2,938	3
兵庫県	18.5	5,644	2,273	40.3	5,060	1,804	35.7	兵庫県	5,060	1,804	35.7	4,889	2,055	4
奈良県	11.5	968	380	39.3	828	374	45.2	奈良県	828	374	45.2	729	392	5
和歌山県	20.6	578	272	47.1	457	215	47.0	和歌山県	457	215	47.0	429	202	4
近機計	28.4	20,403	7,970	39.1	18,649	7,138	38.3	近畿計	18.649	7,138	38.3	16,487	6.937	4
鳥取県	22.2	20,403		45.7	-	34		鳥取県				34	35	10
			21	-	60		56.7		60	34	56.7		-	
島根県	35.1	23	19	82.6	35	23	65.7	島根県	35	23	65.7	22	21	9
岡山県	44.4	1,300	764	58.8	1,675	1,035	61.8	岡山県	1,675	1,035	61.8	1,465	946	6
広島県	67.8	1,176	792	67.3	1,190	765	64.3	広島県	1,190	765	64.3	1,080	683	6
山口県	36.7	268	136	50.7	189	78	41.3	山口県	189	78	41.3	230	102	4
中国計	52.7	2,813	1,732	61.6	3,149	1,935	61.4	中国計	3,149	1,935	61.4	2,831	1.787	6
徳島県	12.7	160	80	50.0	130	84	64.6	徳島県	130	84	64.6	108	51	4
香川県	7.4	794	385	48.5	572	268	46.9	香川県	572	268	46.9	484	260	- 5
愛媛県	49.4	1,231	496	40.3	1,140	401	35.2	愛媛県	1,140	401	35.2	932	278	2
高知県	24.2	433	264	61.0	320	204	63.8	高知県	320	204	63.8	253	158	6
四国計	29.0	2,618	1,225	46.8	2,162	957	44.3	四国計	2.162	957	44.3	1,777	747	4
福岡県	11.9	6,432	3,905	60.7	7,066	4,411	62.4	福岡県	7,066	4,411	62.4	6,399	4,013	- 6
佐賀県	2.7	261	159	60.9	340	235	69.1	佐賀県	340	235	69.1	203	141	•
長崎県	6.4	265	169	63.8	192	133	69.3	長崎県	192	133	69.3	150	89	5
熊本県	19.0	606	441	72.8	584	381	65.2	熊本県	584	381	65.2	783	572	7
大分県	10.8	379	228	60.2	399	219	54.9	大分県	399	219	54.9	363	178	4
宮崎県	11.3	158	71	44.9	126	68	54.0	宮崎県	126	68	54.0	166	88	5
庭児島県	17.5	546	324	59.3	444	270	60.8	鹿児島県	444	270	60.8	347	283	
沖縄県	11.8	1,180	312	26.4	1,260	389	30.9	沖縄県	1,260	389	30.9	883	260	2
九州計		9.827				6.106		九州計				9,294	5.624	
	12.5		5,609	57.1	10,411		58.6		10,411	6,106	58.6			6
全国計	21.9	73,491		38.8	67,776	27,841	41.1	信国全	67,776		41.1	59,469	25,765	4
(注)G·	防普及率	<h22対h2< td=""><td>3比較></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>前年同期</td><td>間比較</td><td>①認知件数</td><td>-8,307</td><td>-12.3%</td><td></td></h22対h2<>	3比較>					1	前年同期	間比較	①認知件数	-8,307	-12.3%	
	, ,果計件数	①盗難認	知件数	-5,715	-7.8%			11 0 1-1	②認知件数	の増減(県	の数)	③回復率の	増減(県の)	数)
H22年3月	保有台数		77.7		1774573				The Annual Control	果数		and and a second	県数	
								1	認知增県数 認知減県数	37		回復率ダウン	30	
												可復率アップ		

北村前三重県二普協専務理事に感謝状

~永年にわたる功績を称える~

北村規夫氏は、平成11年5月に三重県二輪車安全普 及協会の専務理事に就任後、13年余の長きに亘り、同



協会の運営に尽力するとともに、Gミーティング等の 安全運転講習会の実施とG防犯登録の加入率向上に積 極的に取り組み、二輪車の安全で健全な利用の促進に 多大な貢献をされました。

同氏の功績を称え、平成24年9月15日付けで全国二 輪車安全普及協会会長より表彰状を贈呈しました。

永年のご功労に感謝申し上げます。ありがとうございました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

年の初めには、誰しもがこの一年の仕事及び私 生活の目標を立てるのではないかと思います。

しかしながら、折角立てた目標も日々の生活の中で忘れてしまう、あるいはその目標達成が困難になり、年末になって反省することも多いのではないでしょうか。

目標を達成するためには、より明確で具体的な ものが良いと言われますが、当協会の目標は二輪



車の安全・防犯活動の推進と明確です。

そのために、協会職員一同、自分がなすべき具体的な目標を定め、日々、努力していきたいと考えております。

明るく、前向きに取り組んでまいりますので、 本年もよろしくお願い申し上げます。

本年もよろしくお願い申し上げます

(一社)全国二輪車安全普及協会

会長福井威夫専務理事井内正晴常務理事太田昭雄事務局長鯉渕三夫経理部長山本禮仁安全普及部長大沢利方G防システム部長田島和雄